

■ドイツ：2009年の最終エネルギー消費量に占める再エネ比率が初めて10%突破

ドイツ連邦環境省は2010年3月24日、再エネに関する2009年の集計結果を取りまとめた報告書を発表し、2009年の国内最終エネルギー消費量に占める再エネ比率が、前年の9.3%を上回り、10.1%となったと発表した。報告書では、再エネ関連産業は経済危機の影響を大きく受けることなく電力供給量のシェアを確実に伸ばし、結果的に雇用の増大にも貢献していると述べている。同省のレットゲン大臣は、再エネ関連の事業は、経済危機の中でも着実に事業を展開できることが証明されたとの見解を述べた。また同大臣は、持続可能なエネルギー供給システムの確立に向けての道のりはまだ遠く、ドイツ政府は今年の秋に2050年の目標に向けてのビジョンを発表する予定であるとコメントした。